



佐高 SGH通信 2020

スーパー グローバル ハイスクール

No. 32 (2020年11月19日発行)

とちぎ高校生課題研究等発表会 ～SGHクラブの1, 2年生6名が発表しました～

2020年11月9日(月)に、SGHクラブの1, 2年生6名が、上記大会で発表しました。発表校は県内3校です。①SPH 指定校である栃木県立宇都宮商業高等学校、②SSH 指定校である栃木県立栃木高等学校、そして③SGH 指定校である栃木県立佐野高等学校の代表生徒が、それぞれ素晴らしい発表を行いました。例年は総合教育センターで発表するのですが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点からオンラインで参加しました。研究発表のVTRを事前に録って事務局に送り、当日はZoomを使ってオンラインでアクセスする形で、質疑応答や講演視聴を行いました。



- ・日時 11月9日(月) 10:00～12:45
- ・とちぎの高校生課題研究等発表会
全体発表 ①宇都宮商業高校 ②佐野高校 ③栃木高校
- ・留学体験発表会 ①大田原高校
- ・グローバル人材育成講演会 『ジェンダーと社会』講師 モリソン・バーバラ氏(宇都宮大学国際学部)

●Group1

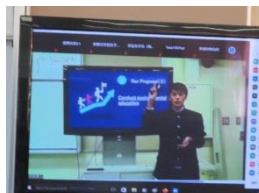
相田 紘夏(2) 内田 小温(2) 大嶋 美聖乃(2)
「What is true learning?(新しい教育観とは何か)」



- 大意「入試に受かるための学力にとどまらない、これからの社会に必要な探究型学力としての新しい3つの力を伸ばす教育と、その伸びを測るルーブリックのような客観的な指標・評価法を開発したい。」
- 質問回答「SGH 活動を通しては、特にクリティカル・シンキングの力がついたと考えています。ディベートも生徒全員が取り組みます。課題研究に役立つ、悪口などではない、物事の客観性に気付く批判能力が伸びたと考えています。」

●Group5

出井 公人(2) 原 悠馬(2) 磯田 新太(1)
「Clothing Recycling (衣料リサイクルの課題と解決策)」



- 大意「日本のペットボトル回収率が80%を超える中、衣料のそれは24%にとどまり、大量廃棄が行われている。公的衣料回収boxを設置したい。更には創造的なアップサイクルを考え提案したい。」
- 質問回答「(マレーシアでのFWやマレーシアの高校生との協働研究の中で)、まずごみの不法投棄問題に注目してきました。しかしながらゴミ拾い運動は肉体労働に対する文化の壁から実現が難しいことに気づき、リサイクルの方から進めようと考えたのです。」

●積極的に質問!!

発表者への敬意や探究心から、佐高生は積極的に質問し、発表会の活性化に貢献しました!



磯田 新太(1年)
(宇都宮商業高校へ)
「小・中・高校生の協働研究にあたって、年齢や保有知識に大きな差があるこの三者の知識や方向性の共有を、どのように進めていきましたか。」



原 悠馬(2年)
(栃木高校へ)
「缶サット甲子園に参加しようと思った動機や、パラシュートの体積や面積の最小化をテーマとした理由について教えてください。」



相田 紘夏(2年)
(栃木高校へ)
「パラシュートの形が、十字型パラシュートが正方形や円形等他に比べて最も優れていると考えた根拠について教えてください。」



大嶋 美聖乃(2年)
(大田原高校へ)
「留学理由は、英語に苦手意識があったから逆に留学を通して自分を変えたいことだったのですが、留学の前後でどのように変わりましたか。」